

校正技術仕様書

校正メニュー			校正可能範囲	校正ポイント	条件	最高測定能力	
Flow	現地	インライン	流量(水)	5~36000 kg(L)/h	3ポイント 各2回繰返し * 1	水が通水可能な事 お客様の設備を使用 メーカー原理不問 * 3	±0.3 % o.r.~
			流量(空気)	要問合せ	要問合せ	蒸気不可 トレーサビリティなし お客様の設備を使用	要問合せ
		オフライン	流量(水)	420~34000 kg(L)/h	3ポイント 各5回繰返し * 1	三相200V60A電源が必要 メーカー原理不問 * 3	±0.15 % o.r.~
		オフライン JCSS * 4	流量(水)	420~34000 kg(L)/h	3ポイント 各5回繰返し * 1	三相200V60A電源が必要 メーカー原理不問 * 3	±0.15 % o.r.~
	引き取り (国内)	JCSS	流量(水)	2~40000 kg(L)/h	5ポイント 各5回繰返し * 1	コリオリ質量流量計 電磁流量計のみ メーカー不問 * 3 口径2~80mm	±0.05 % o.r.
			流量(水) 外部委託	8~1200000 kg(L)/h	3ポイント 各5回繰返し * 1	メーカー原理不問 * 3 接続はフランジのみ 口径2~400mm	±0.13~0.23 % o.r.
			流量(水) 高精度(プレミアム) ※質量流量のみ	79~36000 kg/h	5ポイント 各5回繰返し * 1	E+H製コリオリ質量流量計 83F型の口径8~80mmのみ	±0.025~0.02 % o.r.
		一般校正	流量(水)	2~40000 kg(L)/h	3ポイント 各2回繰返し * 1	自社製品のみ	±0.05 % o.r.~
			密度	0~1.8 g/cc	1または2ポイント ※弊社指定ポイント から選択	自社製品のみ	±0.01~0.02 g/L
	引き取り (海外)	SCS または 一般校正	流量(水)	0.4~5760000 kg(L)/h	3ポイント 各2回繰返し * 1	海外への輸送のため 納期が4週間~ メーカー原理不問 * 3	±0.015~0.05 % o.r.
一般校正		密度	0~1.8 g/cc	9ポイント 各3回繰返し * 2	高精度密度対応可 海外への輸送のため 納期が4週間~	±0.001~0.005 g/L (高精度) ±0.01~0.05 g/L (標準)	
Pressure	現地 および 引き取り (国内)	一般校正	圧力	-0.8~3 MPa(G) 0.015~2000 kPa(abs)	3ポイント 各1回 * 1	ANSI・JISフランジ ねじ込み継ぎ手 SMS、ISOヘルール メーカー不問 * 3	±0.3 kPa~ (200 kPa未満) ±1.5 kPa~ (200 kPa以上)
			温度	-20~150 °C	3ポイント 各1回 * 1	オイル使用不可の場合 直径3mm~6.6mm メーカー不問 * 3	±0.2 °C
			導電率(電磁)	70~200 mS/cm	1点 * 1	メーカー不問 * 3	要問合せ
			導電率(電極)	約70~100 mS/cm	1点 * 1	メーカー不問 * 3	要問合せ
			導電率(純水)	0.04~20 μS/cm	1点 * 1	メーカー不問 * 3	±1.5% o.r.
			pH	4~9pH NIST標準	4・7の2点 * 1	メーカー不問 * 3	要問合せ
Systems Components	現地	一般校正	記録計等 パネル機器	0~10 VDC / 100 mADC	要問合せ	要問合せ	要問合せ
			レベル	要問合せ	5ポイント 各1回 * 1	タンクに水を注水可能なこと メーカー不問 * 3	要問合せ

* 1 ポイントの指定・追加ができます。 * 2 ポイントの指定・追加ができません。 * 3 他社製品で誤差調整をご希望の際は手順をご指示ください。 * 4 現地のJCSS校正は現在準備中です。

Contact

エンドレスハウザージャパン株式会社
東京都府中市日新町5-70-3

Tel 042(314)1911
Fax 042(314)1951
info@jp.endress.com
www.jp.endress.com

校正サービス

計測機器の校正は、計測機器のプロフェッショナルにお任せ下さい！
60年以上培った経験と技術でお客様をサポートします。



製品品質の管理や、製造設備の生産性の向上には、計測器の適合性が鍵になります。
機器の精度を証明するためには、厳格で確実な校正手法の確立が必要です。
エンドレスハウザーでは、各種ISO・HACCP・FSSC22000等の要求に最適な校正サービスを提供しております。

□ レベル計

・タンクレベル計：[流量計による容量校正]

校正対象機器をお客様設備に付けたまま校正を行います。
流量計を経由してタンク内に任意の量の水を送液し、液面の推移を計測することでタンクテーブルの見直しを行います。



□ 温度計

• 温度計校正：[基準器との比較校正]

基準器と校正対象機器を加熱源に取り付け温度を校正ポイントに調整し、基準器と校正対象機器を比較校正します。



□ 圧力計

• 相対圧／絶対圧圧力計校正：[基準器との比較校正]

基準器と校正対象機器を接続し、加減圧源で基準器と校正対象機器を加減圧させます。圧力を校正ポイントに調整し、基準器と校正対象機器を比較校正します。



□ 分析計

• 導電率計校正：[基準器との比較校正]

導電率を各校正ポイントに合わせ調整した校正液を作成します。作成した校正液に基準器と校正対象機器を浸し、基準器と校正対象機器を比較校正します。

• DO計校正：[大気校正]

校正対象機器が大気開放の状態ですす測定値を計測し校正します。低濃度での使用の場合など、ゼロ点校正を行うことも可能です。

• PH計校正：[基準液による校正]

校正液に校正対象機器の電極を浸け、基準液による校正を行います。

• ORP計校正：[基準液による校正]

校正液に校正対象機器の電極を浸け、基準液による校正を行います。

□ 流量計

• 流量計インライン校正：[基準器との比較校正]

校正対象機器周辺の配管を取り外し、基準器を接続します。お客様設備を稼働し、基準器と校正対象機器へ通水します。流量を校正ポイントに調整し、基準器と校正対象機器を比較校正します。

• 流量計オフライン校正：[基準器との比較校正]

設備から取外した校正対象機器を移動式校正装置に接続します。移動式校正装置を稼働し、基準器と校正対象機器へ通水します。流量を校正ポイントに調整し、基準器と校正対象機器を比較校正します。

• フローシミュレーター：[機能検査]

校正対象機器をお客様設備に付けたまま校正を行います。流量計の出力信号の校正及び機能検査を行います。※流量検出部の校正は含まれておりません。

• 流量計引取り校正：[基準器との比較校正]

JCSS登録 (ISO/IEC17025適合)
校正対象機器を校正装置に接続します。校正装置を稼働し、基準器と校正対象機器へ通水します。流量を各校正ポイントに調整し、基準器と校正対象機器を比較校正します。JCSS校正に対応しております。

